

新スタッフ挨拶

いつもNPO法人福岡ファミリーハウスの活動を温かくお支えいただき、心より感謝申し上げます。

このたび、非常勤の事務局スタッフとして活動に参加させていただくことになりました城美奈子と申します。

以前はボランティアとして、ミール支援やイベントなどの活動に携わらせていただいておりますが、転居に伴い1年半ほど活動を離れておりました。その間もファミリーハウスのことは常に心にあり、こうして再びご縁をいただき、新たな立場で関わらせていただけることを大変嬉しくありがたく感じております。

子供たちとご家族の皆さまが、心から安らげる温かい環境づくりに少しでも貢献できるよう、ひとつひとつのご縁を大切に精一杯努めてまいります。

まだ経験も浅く、至らない点多々あるかと存じますが、皆さまのご指導をいただきながら一歩ずつ成長してまいりたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



理事紹介

高原 登代子(代表/小児がん経験者の親) / 山本 章子(副代表/小児がん経験者の親)

古賀 友紀(九州がんセンター小児,思春期腫瘍科医師) / 中山 秀樹(なかやまこどもクリニック院長)

川久保尚徳(九州大学病院小児外科医師) / 大場詩子(九州大学病院小児科医師)

東條 恵美(福岡ファミリーハウス支援団体「SHIPS」代表) / 倉岡彩子(福岡市立こども病院医師)

野田 優子(福岡県立大学看護学部講師) / 山内千晶(福岡県認定がんピアサポーター 九州がんセンターIRB委員)

釜堀隆司(監事/釜堀税理士事務所)

ご支援のお願い

福岡ファミリーハウスは皆様からのご支援で運営されています。

ご寄付：1回500円から自由な金額でご寄付いただけます。
賛助会員：年間一口3000円からのご支援です。

【振込先】 福岡銀行 古賀支店 普通 1969303 トクヒ) フクオカファミリーハウス
ゆうちょ銀行 01770-5-153899 NPO 法人福岡ファミリーハウス

お手数ですが、お振込みいただく前に
①金額(賛助会員ご入会の場合は口数と金額) ②領収書発行の有無
③ご住所 ④お名前を事務局までメールでご連絡ください。

オンラインでも
受け付けております。



物品提供のお願い

ハウスで使用する紙製品、パックご飯、スキンケア用品等を募集しております。

希望商品の詳細はAmazonほしいものリストよりご確認ください。
ご興味ございましたら当法人までお気軽にお問い合わせください。

Amazon ほしいものリスト



福岡ファミリーハウス事務局
〒812-0054 福岡市東区馬出 2-3-27 2F

MAIL fukuoka.familyhouse@gmail.com
WEB https://fukuokafamilyhouse.org

WEBサイト



病院近くのわが家

福岡ファミリーハウス通信

38
2026.07

代表挨拶

日頃より福岡ファミリーハウスの活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

皆様からお寄せいただくご寄付やご支援のおかげで、病気と向き合う子どもたちとご家族が安心して滞在できる「第二のわが家」を守り続けることができます。私たちの活動を応援してくださる皆様に改めて深く感謝申し上げます。

この6月で42回目を迎えた「ミールプログラム」は、4月から北九州市の産業医科大学病院のご理解のもと、長期で付き添いをされているご家族へのお届けも始まり、毎回100食ほどを製作・配達しています。

ボランティアの皆様が安全に配慮しながら心を込めて調理したお弁当は、自分の食事を後回しにしてしまいがちなご家族に大変喜ばれています。人の温もりが持つ力の大きさを実感しています。

一方で、福岡ファミリーハウスの活動は、調理や清掃だけでは成り立ちません。ご寄付の管理や会計処理、データ入力、資料作成など、日々の運営を支える事務作業も欠かせない大切な活動です。

現在、経理のご経験をお持ちの方や、パソコンを使った事務作業にご協力いただけるボランティアを募集しております。月に数時間でも構いません。それぞれのご都合に合わせた形で力を貸していただける方との新たなご縁をお待ちしております。また、以前よりお知らせしておりますように、2028年には前面道路の拡張に伴い「シバタハウス」の閉鎖が予定されています。絶対に失くすわけにはいかないファミリーハウスの存続について、現在、九州大学および九州がんセンターと話し合いの機会をいただけるようになりました。引き続きファミリーハウス確保に向けて努力してまいりますので、今年度も賛助会員やご寄付の継続を賜りますよう心よりお願い申し上げます。これからも、一人でも多くの子どもたちとご家族が安心して治療に専念できる環境を守り続けられるよう努めてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

NPO法人福岡ファミリーハウス 代表 高原 登代子

新理事挨拶

このたびご縁をいただき、理事を務めさせていただくことになりました山内千晶と申します。

代表の高原さんとは別の患者支援活動を通じての長いお付き合いで、そのご縁からお声かけをいただき、福岡ファミリーハウスの活動に参加させていただくことになりました。

私自身、急性骨髄性白血病(再発・移植)と乳がんの患者であり、心臓病の娘の闘病を家族として支えた経験があります。病気は異なりますが、病気の子供を見守るご家族の思いや日々の不安、そして小さな喜びには共通するものがあると感じています。

昨年からはミール支援にも参加させていただき、ご家族のもとへお弁当を届ける短い時間の中にも多くの温かさや支え合いの心があることを実感しています。

福岡ファミリーハウスの運営をはじめ、ご家族に寄り添う様々な活動に微力ながら力を尽くし、皆さまとともに歩んでまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



自2025年4月1日至2026年3月31日

経常収益	
受取寄付金	4,201,603
ハウス運営事業収益	1,202,981
賛助会員受取会費	957,000
その他収益	2,566,099
経常収益計	8,927,683
経常費用	
ハウス運営事業費	2,444,488
ミール事業費	377,666
25周年記念イベント	747,219
その他事業費	2,566,099
管理費	564,012
経常費用計	6,409,470
当期正味財産増減額	2,518,213
前期繰越正味財産額	19,344,330
次期繰越正味財産額	21,862,543

2026年予算

経常収益	
受取寄付金	4,500,000
ハウス運営事業収益	1,200,000
賛助会員受取会費	1,000,000
経常収益計	8,160,000
経常費用	
ハウス運営事業費	2,444,488
ミール事業費	377,666
その他事業費	747,219
管理費	850,000
経常費用計	6,920,000

振込口座

■福岡銀行
古賀支店 普通 1969303 トクヒ)フクオカファミリーハウス

■ゆうちょ銀行
01770-5-153899 NPO 法人福岡ファミリーハウス

2025年度施設稼働率・利用者数

■2025年4月～2026年3月

	部屋数施	設稼働率	利用者数
シバタハウス	3	57%	1,317
コスモスハウス	2	55%	418
全体	5	56%	1,735
		(前年比 +2.0%)	(前年比 +97人)

ご寄付・賛助会員ご入会のお願い

福岡ファミリーハウスでは、ご寄付をいただいている皆様に、より多くの
税制補助などのお返しができるよう「認定NPO法人」の取得を目指し、
寄付活動を行っております。

「認定NPO法人」の取得にはさまざまな条件がありますが、その一つに
「2年間、賛助会員が年間100名以上いること」というものがあります。
賛助会員は「年間3,000円(法人会員は30,000円)以上」のご寄付を
いただければどなたでもご入会いただけます。

既にご寄付いただいている皆様はもとより、周りの方にもこの活動をお
伝えいただきますよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。

オンライン

- 公式サイトの「ご支援のお願い」を選択
または、右のQRコードを読み取ってください。
- 「詳細をみる」を選択(外部サイトに移動します)
- 必要事項を入力し、お申し込みください。



お支払いは銀行振込の他、クレジットカード決済も可能ですので
ご自宅などからいつでもお申し込みいただけます。

銀行振り込み

お手数ですが、お振込みいただく前に以下の情報を事務局まで
メールでご連絡ください。

- 金額(賛助会員ご入会の場合は口数と金額)
- 領収書発行の有無
- ご住所 ④お名前

郵便振替

払込取扱票(振込用紙)に以下の情報をご記入ください。

- 金額(賛助会員ご入会の場合は口数と金額)
- 領収書発行の有無
- ご住所
- お名前

当法人発行の払込取扱票をご使用いただくとスムーズです。

寄付者一覧 (2025年4月～2026年3月・順不同・敬称略)

今年度も多くの方々にご支援、ご協力をいただきました。ありがとうございました。

SHIPS	堀 大藏	愛甲 孟	工藤 さち子
株式会社住幸房	前田 秀明	石川 フェリシア	柴田 澄代
ひまわり会	高瀬 昌利	濱崎 敦子	宮内 恵子
江本不動産鑑定事務所	吉田 豊	白水 里美	正木 聖子
株式会社宝石修飾工房波多弉	大田 美保	菊地 正樹	梶原 信子
(一社)九州住宅産業協会	稲永 みき子	山口 智子	片岡 浩一
ライオンズクラブ国際協会337-A地区	天本 美樹	栗須 由紀子	持田 由美子
くるみ福祉会株式会社	青木 千絵	大塚 悟史	吉澤 裕子
株式会社夜宮珈琲倶楽部	藤 英代	森 茂	永田 眞理
福岡船用品(株)	林田 菜緒美	楠原 浩一	吉松 明子
あゆかわこどもクリニック	石川 智栄子	杉 恵子	三輪 智加子
アンジェルヘアー サエ	長野 明子	寺田 眞由美	三室戸 多美子
有限会社光武金型製作所	宮崎 さとみ	山内 千恵子	濱地 和昭
浜川自動車株式会社	赤松 千鶴	和田 明美	曾田 新太郎
日高齒科医院	青木 恵美	大塚 靖子	古賀 初音
株式会社ツバメガス福岡 福岡東エリア店	小川 敏昭	平岡 理	土方 克之
阿武松部屋	宮内 美保子	久末 学	高原 雅子
福岡博多みらいライオンズクラブ	奥山 敏昭	渡部 紀子	野沢 恵美子
第一生命保険株式会社	黒岩 涉	笠原 雅好	竹口 茜
大分大学医学部附属病院小児科親の会BLUE STAR	田中 愛	杉原 京子	清原 英明
株式会社エー・ワイ・エス	仲曾根 昇	榎 祐一	石川 有紀子
株式会社オーガホールディングス	三浦 美奈子	森下 美和子	花山 佳代
(株)vie Antenne	田仲 功仁毅	中野 聡	山本 優馬
西福岡のぞみキリスト教会	安松 恵美子	三浦 俊晴	松尾 充子
医療法人五省堂	高木 泉美	岡村 純	井上 千愛
	白木 博子	濱田 晴代	高山 洋子
	稲葉 三帆	荒川 裕美子	横山 司
	原田 さつき	齋藤 秀司	梅田 康政
	有吉 光寛	蓮尾 エリ	大野 朝男
	宮崎 英子	左近 明子	林 敏彦
	鈴木 幹	松本 美香	叶 貴子
	山浦 昌哉	早川 春代	上田 綾子
	山田 恵美子	本田 有子	佐藤 伸人
	本寺 まさみ	松尾 林	佐藤 幸子
	大平 理恵子	神谷	末安 世紀代
	田中 音色	原 裕子	西留 小夜子
	安部 麻利子	西村 恵	宮本 裕美
	大黒 智子	八木 有江	
	永野 早喜子	古谷 幸子	
	宗崎 亮太	笹渕 雅康	
	平元 克典	森 純子	

【物品寄付】

アフラック生命保険株式会社福岡総合支社

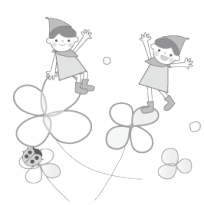
花王株式会社 社会貢献部

IKEA福岡新宮

株式会社あおやぎ

【助成金】

毎日新聞西部社会事業団



その他匿名の方、ハウスの利用者様、
Amazon(ほしいものリストからも
たくさんのご寄付をいただきました。
また、ミールプログラムにつきましても
多くの方からご支援、ご協力をいただきました。
詳細は5ページをご覧ください。

ミールプログラム

・・・食で皆様の背中を押したい！その一心で頑張っています。

九州大学病院、九州がんセンター、産業医科大学病院（2026年4月より）、お子さんが入院中の付き添い家族とハウス利用者へ手作り弁当を無償でお届けするミールプログラムはお陰様で42回目を無事に実施することができました。

ご年配の方から大学生まで幅広い年齢層のボランティアさんが集まり楽しく調理作業をしています。また、食材、容器、デザートなどご支援いただいております。大変有り難く思います。皆様、ご支援ご協力ありがとうございます。



お弁当を受け取られた皆さまから寄せられた感想（一部抜粋）

9月から息子の外来、入院と県外から通い、検査結果が良くなり少し肩を落としていたところですが皆さんの優しさのおかげでとても元気が出ました。前向きに頑張っていきます。本当にありがとうございました。



九州大学病院に入院になり、いろんな検査漬けの毎日で娘と二人っきりの中、どんな結果なのか不安な毎日でした。そんな中届いた手作り弁当やパンなどとても暖かいごはんは涙が溢れました。1人ではない、そう思えました。



いろんなご縁もあり
長い長い入院生活の心の支えです。



息子と入院して一週間が過ぎました。なかなか良い結果が出ず暗い気持ちになっていました。お弁当をいただき、「明日も息子と頑張ろう」と思え元気をたくさんもらいました。

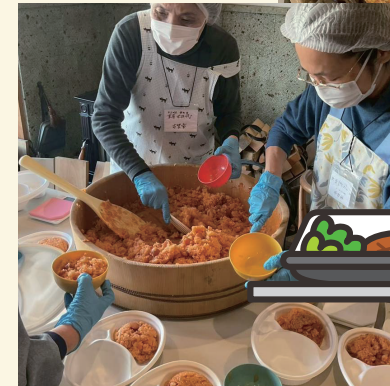


旬の食材、健康にいい味付け、病気の子どもに家族に向けられて作られているからだと感じました。



西日本新聞

2025年8月4日朝刊掲載



ミールプログラムにご協力いただいた皆様（2025年4月～2026年3月・順不同・敬称略）

毎回たくさんの方から、お米や野菜等の食材、パン、サラダ、お菓子、包装資材などのご提供をいただいております。心より御礼申し上げます。

SHIPS（指定寄付）／株式会社フーズメーカー（食材購入割引支援）／シーピー化成株式会社／中央化学株式会社
Green Bouquet（グリーンブーケ）／有限会社さくら館／株式会社ケアリング／夜宮珈琲倶楽部／株式会社豆吉郎／興山園
ふなこし内科・循環器内科／NPO 法人キープ・スマイリング／ル・クッカー／石堂雅弘／畦地克己／松永望／高原弘樹／高原佑樹
飯尾貞子／白木博子／持田由美子／三戸香奈／田中愛／坂崎隆一／野添恭士
その他、匿名の方、Amazonほしいものリストからもたくさんのご支援をいただきました。



令和8年度のミールプログラムが、公益財団法人キリン福祉財団様の「キリン・地域のちから応援事業」に採択されました。いただいた助成金は、食材や包装資材の購入費として大切に活用させていただきます。1年間よろしくお願いいたします。



ミールプログラムボランティアさんの声

私がミールプログラムに関わるきっかけとなったのは、入院中の息子に付き添っていた頃の経験です。付き添い生活では、子どものことを優先するあまり、自分の食事は後回しになり、思うように食事が取れない日も少なくありませんでした。そんな中で福岡ファミリーハウスのミールプログラムを知り、「今度は支える側としてお手伝いしたい」と思い、ボランティアを志願しました。温かいお弁当は、空腹を満たすだけでなく、「誰かが気にかけてくれている」という安心感にもつながると思います。病気と向き合うお子さんやご家族にとって、少しでも心休まる時間のお役に立てれば嬉しいです。4月より産業医科大学病院小児科病棟で長期入院している家族への提供も始まりました。広がっていくミールの輪。これからも微力ながら、必要とされるご家族に寄り添う活動のお手伝いを続けていきたいと思っています。



松村尊美枝

利用者様の声

・・・ハウスに置いている感想ノートに届いた声をご紹介します。

令和7年11月

0歳児の孫の手術のため、こちらをお借りしました。

手術前日、リスクを聞いて、胸がいっぱいになり、娘と2人目を真っ赤にして、こちらへ入らせていただきました。

一歩足を踏み入れたとき、何だかホッとした安心感のようなものを感じました。手術当日も祈るばかりでした。

大きな手術だったそうですが、先生を始め、たくさんの方々のおかげで無事に成功し、今快方に向っています。

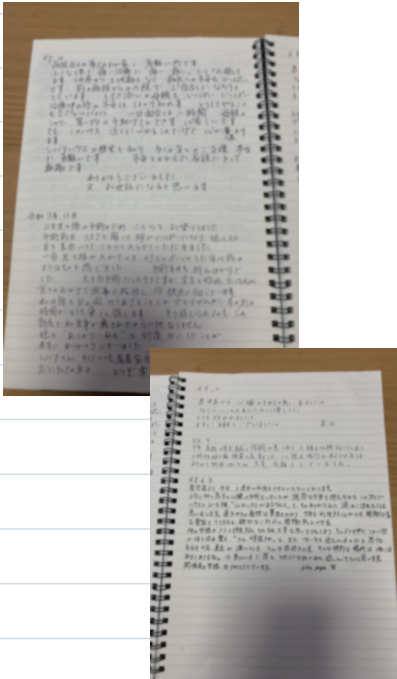
私は孫を少しの間、みてあげることしかできませんが、その少しの時間がとても愛しく感じます。

そう感じられるのも、この部屋で私自身が癒されたからに他なりません。

娘と“ありがたいねえ”と何度口にしたことか。

本当にありがとうございました。

シバタさん、そしていつも患者家族のことを支えて下さっているボランティアの方々、どうぞ幸せがたくさん届きますように。



令和8年6月

鹿児島より、今年、2度目の利用をさせていただいております。

2月に幼い息子の心臓の手術をしましたが、強烈な不安を抱えながら、

このファミリーハウスに入った際、“こんなハウスがあるなんて”と、

そのありがたみに涙がこぼれたことを思い出します。

遠方からの通院は費用もかかり、今回も利用することができ、感謝です。

お電話を下さる方も、親切なご対応に感謝申し上げます。

他の皆様のノートを拝見すると、それぞれ大変な思いをされており、そのような中で、

このハウスで体を休め、整え、“よし、頑張ろう”と、また、一日一日を迎えているのだと思うと、

自分も元気、勇気が湧いてくる、そんな気持ちです。そんな特別な場所は、他にはあまりありません。

今受けているご恩を、どのような形であれ、返していきたいと思います。

関係者の皆様、ありがとうございます。



ボランティアさんの声

私が福岡ファミリーハウスを知ったのは、2年ほど前、亡くなった祖母が喜ぶことを代わりにできたらと考えていた時、

ちょうどテレビで代表の高原さんがファミリーハウスのお話をされていたのを見たのがきっかけです。

後日お約束して、祖母からの寄付金をシバタハウスにお届けしました。

お話を聞きながら空いたお部屋を見学させていただいて、利用される若いご家族たちにとって「病院のそばの我が家」は

どんなに心強く、なくてはならないものか実感し、今まで知らなかったこの支援がみなさんの手で続いてきたことに感銘を受けました。

利用者さんが同世代の子育てをがんばっているいとこ達とも重なって、私もできることで

応援したいという素朴な気持ちで、後日お掃除ボランティアに加えていただきました。

日中は仕事をしていて頻度は多くありませんが、事務局から退出のご連絡があった時に、

夕方や休日にお部屋に向かいます。お子さんの病状がよくなって、ご家族みなさんでおだやかな日常を過ごされますように願って、お掃除しています。

岡田 良英



活動報告

・・・笑顔でつながるチームワークで、日々楽しく活動しています！

1/30 通信発送作業&ボランティア懇親会

通信発送作業後、日頃お世話になっているボランティアさんと懇親会を開催しました。

ミールとお掃除ボランティアさんをお招きし、

とても賑やかでした。これからもどうぞよろしくお願いします。



2/25 住友生命「第19回未来を強くする子育てプロジェクト」スミセイ未来賞受賞式

東京で行われた授賞式に出席しました。

225組の応募があり、12組が選ばれその1団体として受賞できましたこと、大変嬉しく思います。



3/16 シーツカバー洗濯



5/13 「令和8年度キリン・地域のちから応援事業」助成金贈呈式

昨年度に引き続き、助成金をいただけることとなりました。

今年度もミールプログラム（付き添い食支援）へ大切にに使わせていただきます。



5/15 ハウス大掃除

スタッフ、ボランティアさん17名で、シバタハウス、コスモスハウスの大掃除をしました。

この日は快晴で暑かったのですが、長時間かけ隅々まできれいにし、利用者さんが気持ちよく過ごせるようお掃除しました。



5/23 ミットすまいる主催チャリティーコンサート

演奏はもちろんのこと、詩の朗読や落語など素晴らしいコンサートに、会場全体が温かい雰囲気と笑顔につつまれていました。

代表高原もハウスの現状をお話しさせていただきました。

ご支援いただいた161,250円はハウス運営のために、大切に使用させていただきます。

